

令和6年度
ガーデンシティえにわFOODBAG
実施店舗アンケート

結 果 報 告 書



目次

01 事業の概要.....	1
02 アンケートの目的.....	1
03 アンケートの配布先.....	2
04 アンケート結果	3

01 事業の概要

本事業は、飲食店等で発生する食べ残しによる食品ロスの削減や、消費者への意識付けを目的として、市で食品の持ち帰り容器「ガーデンシティえにわFOODBAG（以下：フードバッグとする）」を作製し、希望のあった市内飲食店に試験的に配布を行ったものである。

02 アンケートの目的

本アンケートはフードバッグを配布した市内飲食店での利用状況を把握し、今後の施策を検討するための基礎資料とすることを目的として実施した。

① 対象

市からフードバッグを配布した事業者

② 調査方法

設問に対して該当項目に☒を付記する選択方式と、意見や要望などを自由に記入する記述方式により実施した。また、アンケートは郵送配布し、回収は郵送、FAX、オンラインによる回答により提出を依頼した。

③ 調査実施期間

発 送：令和7年1月31日（金）

提出期限：令和7年2月28日（金）

④ 回収結果

配布数	有効回収数	回収率
12票	11票	91.6%

⑤ 集計方法

アンケートの集計は各設問における単純集計及び自由記述集計により実施した。

③ アンケートの配布先

店舗名	所在地	業態
味覚館	泉町	焼肉
味の福龍	和光町	ラーメン
浪花亀すし	栄恵町	寿司
刺身一番	栄恵町	居酒屋
pizzeria e trattoria CERVO	黄金南	イタリアン
鳥焼商店	京町	焼き鳥
鉄板焼ダイニング さわしん	栄恵町	お好み焼き
ミモザの園	黄金南	カフェ
SNACK KIMAMA	栄恵町	スナック
つば八 恵庭駅前通り店	泉町	居酒屋
つば八 恵み野店	恵み野西	居酒屋
さかな亭	栄恵町	居酒屋

04 アンケート結果

本アンケート記入時点でのガーデンシティえにわFOODBAG(以下:フードバッグ)の在庫数を記入してください。また、在庫が0の場合は在庫がなくなった時期についても記入してください。

個	在庫が無くなった時期
---	------------

配布数 計	使用数 計	消化率 (%)
600 個	469 個	78.2 %

配布したフードバッグのうち、2月末時点で78.2%が消化されている結果となった。特に居酒屋では品数が多いため、持ち帰り対応が可能な商品も多く、高い消化率(居酒屋平均92.8%)となった。

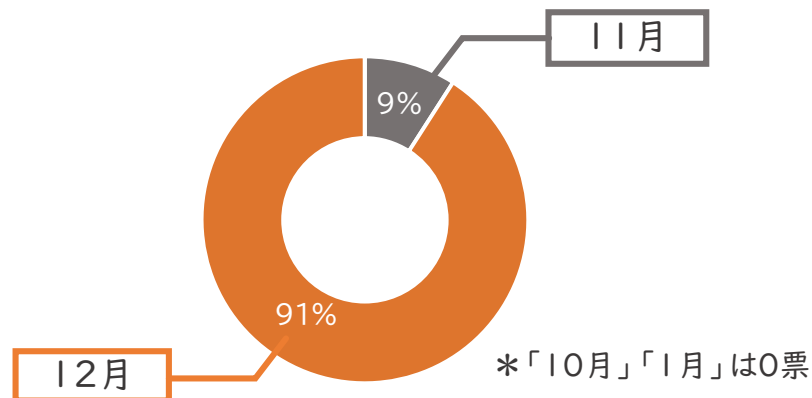
逆に、焼き鳥や鉄板焼き(お好み焼き等)は容器の形状がそぐわず、サイドメニュー等で利用するに留まったため他の業態と比較して消化率が低い結果となった。



04 アンケート結果

フードバッグを配布してから、最も利用者が多かった時期はいつですか？
以下から1つを選択し ☒ をつけてください。

☐10月 ☐11月 ☐12月 ☐1月

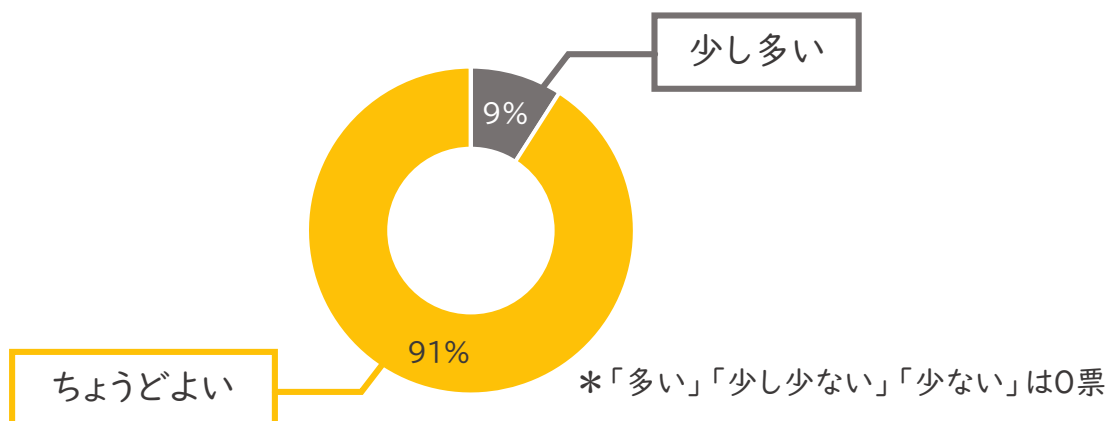


当初配布時に想定していたとおり、12月の忘年会シーズンが一番利用者が多い結果となった。

なお、11月が一番多いと回答した店舗はカフェであるため、忘年会等のイベントに左右されなかったと推測される。

今回配布したフードバッグの個数について、適正だったと感じますか？
以下から1つを選択し ☒ をつけてください。

☐多い ☐少し多い ☐ちょうどよい ☐少し少ない ☐少ない



配布数については、店の規模や業態によって当課で振り分けを行ったが、9割以上の店舗が「ちょうどよい」と回答する結果となった。

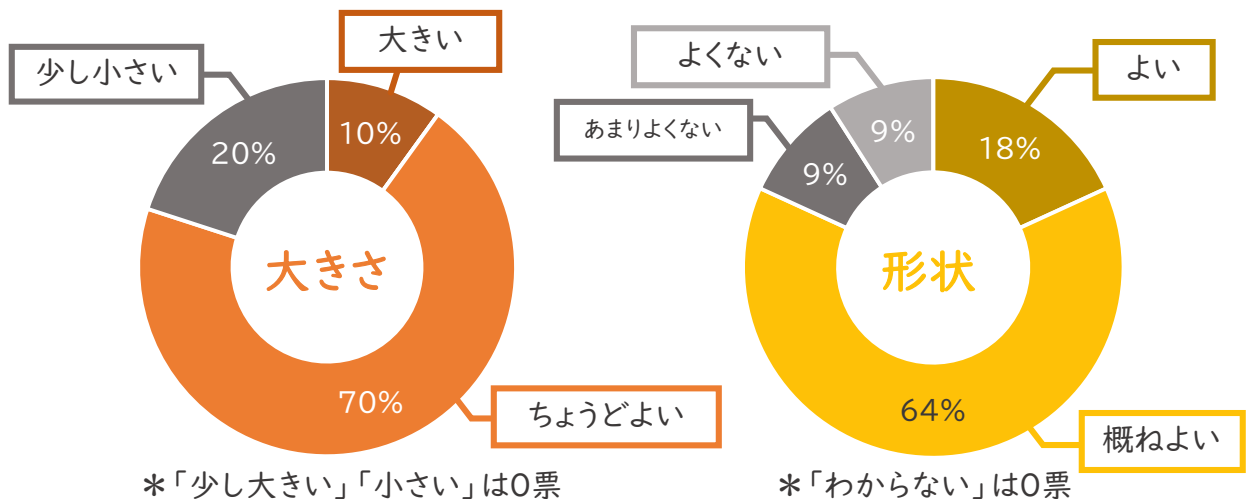
ただ、店舗側が「ちょうどよい」と回答していても実際に在庫が残ってしまっている店舗も見られるため、次年度の配布数については今年度と同様ではなく、業種ごとの消化率を加味して検討する必要がある。

04 アンケート結果

今回配布したフードバッグの大きさや形状について、適正だったと感じますか？
以下から1つずつ選択し ☒ をつけてください。また、こういった商品が入るものだとより
使いやすかったなどの要望があれば記載欄に記入してください。

(大きさ) ☐ 大きい ☐ 少し大きい ☐ ちょうどよい ☐ 少し小さい ☐ 小さい
(形状) ☐ よい ☐ 概ねよい ☐ あまりよくない ☐ よくない ☐ わからない

記載欄



《自由記載欄》

- ・もう少し大きいと、すしや唐揚げ等が入れやすい。
- ・当店はピザもあるので平たいお皿であればより合わせやすく感じました。
- ただお店によって様々ですし、私たちもパスタとサラダを詰めたりするにはぴったりでした。
- ・提供商品が串、汁物がメインの為、形状が合わない事が多い。
- ・小さい方のパックは不要
- ・2段重ねだったので喜ばれました。

今回配布したフードバッグは右図のとおり中皿がある2段重ねのタイプを採用した。
大きさに関しては70%が「ちょうどよい」、形状に関しても82%が「よい・概ねよい」と回答している。
「(大きさが) 大きい・少し小さい」「(形状が) あまりよくない・よくない」と回答した店舗は、自由記載欄にもあるとおり特定の商品を提供する専門店となっているが、本事業の趣旨としてより多くの商品に対応可能な大きさ・形状が肝要であることを踏まえると、次年度も同様のタイプで継続しながら、店舗側にも理解と協力を求める必要がある。



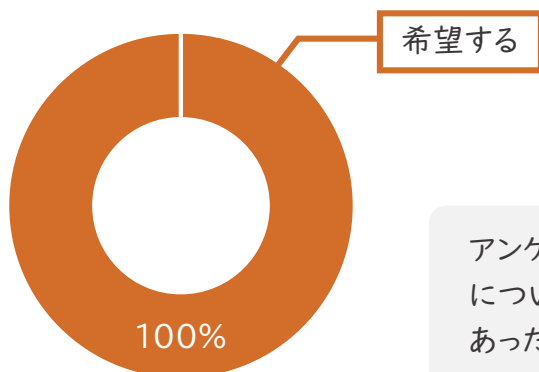
04 アンケート結果

令和7年度にもフードバッグの配布があった場合、継続して申込を希望しますか？

☐希望する

☐希望しない（理由

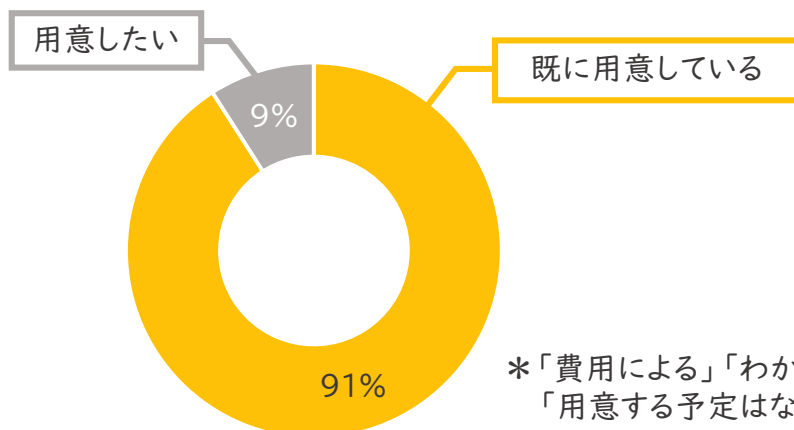
）



アンケートに回答したすべての店舗が令和7年度についても継続して配布を希望するという結果であった。

今後、お店で持ち帰り容器を用意しようと考えていますか？以下から1つ選択し ☒ をつけてください。

☐既に用意している ☐用意したい ☐費用による ☐わからない ☐用意する予定はない



*「費用による」「わからない」「用意する予定はない」は0票

今後の店舗での持ち帰り容器の用意について、アンケートに回答したすべての店舗が「既に用意している、用意したい」という結果であった。

04 アンケート結果

利用客について、最も近いものを以下からそれぞれ1つ選択し ☒ をつけてください。

(利用客の反応)

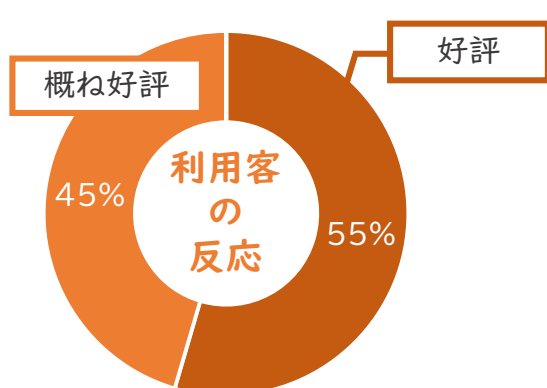
☐ 好評 ☐ 概ね好評 ☐ 反響なし ☐ 概ね不評 ☐ 不評

(利用客の希望)

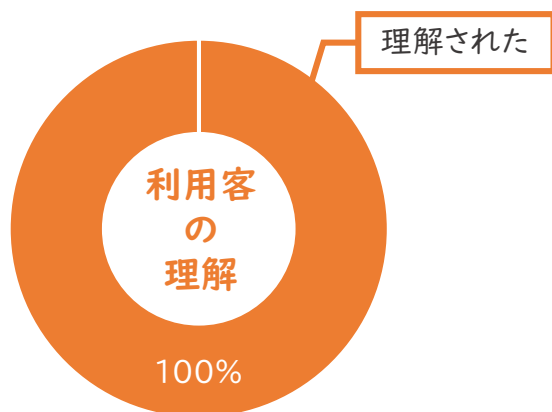
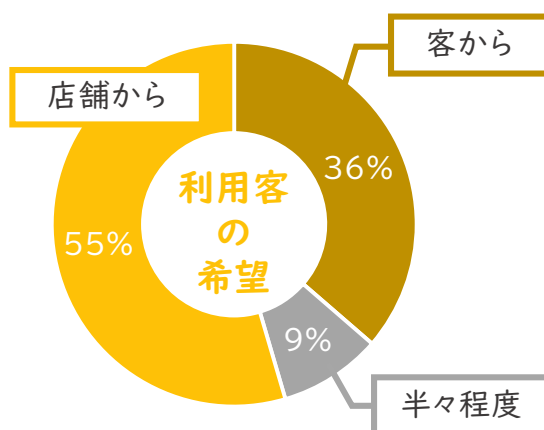
☐ 客からの要望 ☐ 半々程度 ☐ 店舗側から利用を勧めた

(自己責任での持ち帰りに対する利用客の理解)

☐ 理解された ☐ 半々程度 ☐ 理解されなかった



*「反響なし」「概ね不評」「不評」は0票



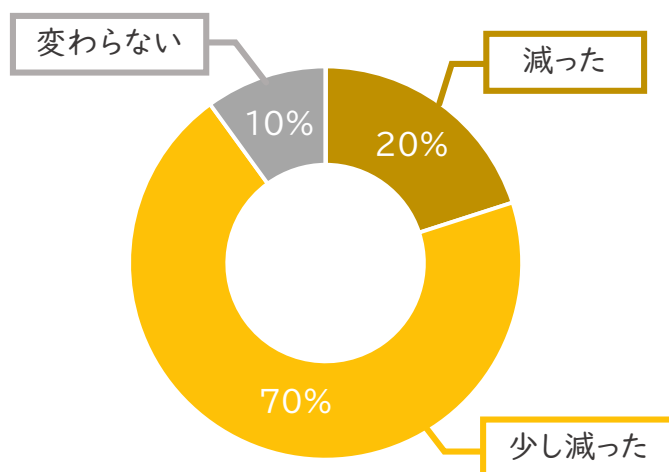
*「半々程度」「理解されなかった」は0票

ほとんどの利用客がフードバッグについて好意的であり、利用にあたっては「店舗から勧めた」が55%、「客からの要望」が36%となった。店舗から勧めたケースが割合としては若干高いものの、利用客が「広報えにわ」や課内啓発紙「ごみ減量大作戦」、市ホームページなどの各種媒体で取組みについて既に知っているケースも多く、「啓発による重要性を改めて認識した」と回答する店舗もあった。また、当課で用意した持ち帰りの際の注意喚起や、店舗でのスタッフによる説明の徹底によってすべての店舗が利用客に「理解された」と回答した。

04 アンケート結果

フードバッグの利用によって、廃棄される生ごみの量に変化はありましたか？以下から1つ選択し ☒ をつけてください。

☐ 減った ☐ 少し減った ☐ 変わらない ☐ 少し増えた ☐ 増えた



*「少し増えた」「増えた」は0票

R6フードバッグ事業による生ごみの削減量(R7.2末時点推計)

使用数469個 × フードバッグ内容量0.375リットル = 175.88リットル

*1リットルあたりの生ごみの重さ 0.577kg(R4年度組成分析から)

0.577kg × 175.88リットル = 101.48kg

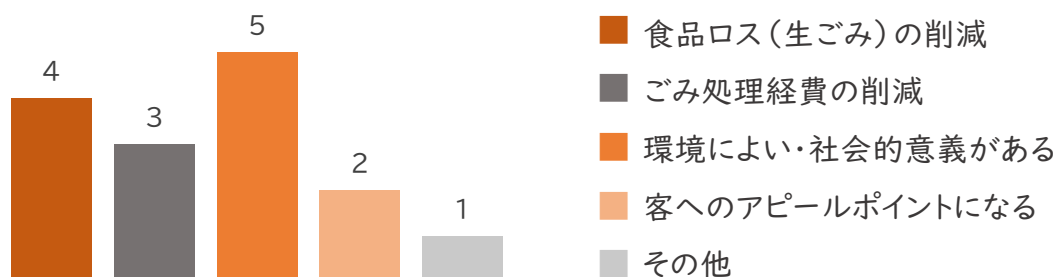
アンケートに回答した店舗の90%が廃棄される生ごみの量が「減った、少し減った」と回答しており、「フードバッグの導入によって生ごみが減る」と店舗側が実感することで意識醸成にも一定の効果があったものと考えられる。

また、今回のフードバッグによって事業系生ごみが101.48kg(R7.2末時点推計)削減された。

04 アンケート結果

フードバッグのどのような点にメリットを感じますか？
以下からあてはまるものをすべて選択し ☒ をつけてください。

- ☐食品ロス(生ごみ)の削減
☐環境によい、社会的意義がある
☐その他()
- ☐ごみ処理経費の削減
☐客へのアピールポイントになる



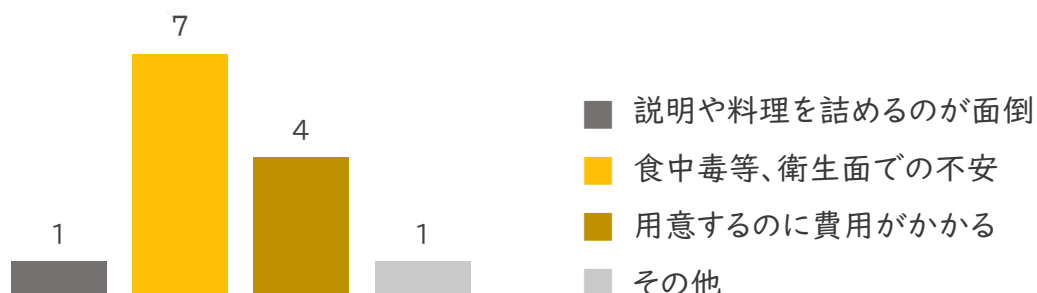
《その他》

・持ち帰ってから温め直して、そのまま捨てられる紙製のパックならなおよいと思います。

店舗側で感じるメリットとしては「食品ロス（生ごみ）の削減」が最も多く、次いで「環境によい・社会的意義がある」、「ごみ処理経費の削減」、「客へのアピールポイントになる」という結果であった。食品ロスの削減や環境への意識が高いことが窺える。

フードバッグにデメリットを感じる点がありますか？
以下からあてはまるものをすべて選択し ☒ をつけてください。

- ☐説明や料理を詰めるのが面倒
 ☐食中毒等、衛生面での不安
☐用意するのに費用がかかる
☐その他()



《その他》

・プラスチックを減らすということをプラスしてお客様もそのまま捨てられるともっとよい。

店舗側で感じるデメリットとしては「食中毒等、衛生面での不安」が最も多く、次いで「用意するのに費用がかかる」、「説明や料理を詰めるのが面倒」という結果であった。令和7年度の配布時期についても、食中毒等のリスクを加味し10月頃の配布が適切であると考ええる。

04 アンケート結果

今回のフードバッグ事業についてご意見をお聞かせください。(自由記載)

《意見一覧》

とても良い機会だと思うので、また市で配布されたら嬉しいです。継続されることを願っています。ありがとうございました。

今回の事業で1番の事は、皆さんにこの事業を新聞などで知っていることでした。TV、新聞などで知らせることの大切さを知りました。

宴会やコースなどで食べきれない、接待優先で残ってしまうケースなどが年末に多かったため事前にパック詰めしご用意して置けるので大変助かりました。フードロス問題は環境問題はもちろんですが作った側の気持ちにも配慮していただけているので非常に良い取り組みと存じます。店内掲示のpop関係は各店舗においてそれぞれデザインが異なる方が助かります。お店にそぐわない見た目だと掲示していただけない場合もあると思いますしサイズ感も事業所ごとに検討が必要だと思います。大概のレストランだと「食べきれないものを持って帰ることができる」とは思っていませんから積極的に恵庭市の事業としてPRされていくべき案件だと感じました。もし予算が別に出るようでしたら、容器までとは言わずに「ポークスペーパー」や「アルミホイル」「耐油袋」などでも低コストに対応できるケースもありますからそういう選択肢があると資源の適正利用にもつながるのではないのでしょうか。

色々なものが高騰し、外食の回数が減っている中で食品を大切にするフードロスの為のお持ち帰りは今後さらに必要になってくると思いますのでぜひ続けて欲しいです。

宴会の時に出したお料理をお客様が持ち帰るのに重宝しました。

大変良いことだと思います。

継続してください。

中蓋式は必要ないと思います。